



茨城県の経済情勢報告

令和8年4月22日

財務省関東財務局水戸財務事務所


本件に関するお問い合わせ先

水戸財務事務所財務課

電話 029-221-3180

1. 総論

【総括判断】「県内経済は、持ち直している」









項目	前回（8年1月判断）	今回（8年4月判断）	前回比較
総括判断	持ち直している	持ち直している	

（注）8年4月判断は、前回8年1月判断以降、足下の状況までを含めた期間で判断している。

（判断の要点）

個人消費は持ち直している。生産活動は緩やかに持ち直しつつあり、雇用情勢は緩やかに持ち直している。

【各項目の判断】

項目	前回（8年1月判断）	今回（8年4月判断）	前回比較
個人消費	物価上昇の影響がみられるものの、持ち直している	持ち直している	
生産活動	一進一退の状況にある	緩やかに持ち直しつつある	
雇用情勢	緩やかに持ち直している	緩やかに持ち直している	
設備投資	7年度は増加見込みとなっている	7年度は減少見込みとなっている	
企業収益	7年度は減益見込みとなっている	7年度は減益見込みとなっている	
企業の景況感	「上昇」超に転じている	「下降」超に転じている	
住宅建設	前年を上回っている	前年を下回っている	
公共事業	前年を上回っている	前年を上回っている	

【先行き】

先行きについては、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果が持ち直しを支えることが期待されるものの、中東情勢の影響を注視する必要がある。また、金融資本市場の変動の影響や米国の通商政策をめぐる動向などに注意する必要がある。

2. 各論

■ 個人消費 「持ち直している」

ホームセンター販売額が前年を下回っているものの、百貨店・スーパー販売額、コンビニエンスストア販売額、家電大型専門店販売額、ドラッグストア販売額は前年を上回っている。乗用車の新車登録届出数は、普通車、小型車、軽乗用車のいずれも前年を下回っている。このほか、飲食サービスなどは持ち直しの動きがみられる。

このように、個人消費を全体としてみると、持ち直している。

(主なヒアリング結果)

- 買上げ点数が減少する中、利益率の高い総菜に力を入れるなどして売上げを維持している。また、高価格帯・低価格帯商品の販売が伸びており、消費の二極化の傾向がみられている。(百貨店・スーパー)
- 3月は寒暖差が大きい日が多く、春物衣料品の動きが鈍かったが、ひなまつりや卒業・入学内祝いとしての和洋菓子需要が旺盛なほか、物産展が好調で売上げを牽引している。(百貨店・スーパー)
- アプリを使った割引や販促キャンペーンへの反応も良く、客数の増加につながっている。(コンビニエンスストア)
- エアコンでは省エネ基準の改正を見越した駆け込み需要が生じているほか、冬季五輪等の影響でテレビの売上げが増加した。また、一部の地域では政府の物価高対策を活用した自治体の補助金による販売増がみられた。(家電量販店)
- 消費者の節約志向は継続しており、生活に必要なものだけを購入する傾向がみられている。(ホームセンター)
- 4月の自動車税制改正を前に買い控えがみられるなど、新車登録台数が伸びなかった。(自動車販売)
- 仕入価格の上昇を受け価格改定を実施しており、客単価が上昇していることから売上高は堅調に推移している。最近では高単価なメニューの注文割合が増えており、外食で「プチ贅沢」を楽しむ消費行動がみられる。(飲食サービス)
- 物価高の影響により、安価な日帰り旅行の販売が伸びている。一方、3月下旬からは卒業旅行や春休みシーズンを迎えた宿泊旅行の販売も好調であり、取扱高は前年を上回っている。(旅行)

■ 生産活動 「緩やかに持ち直しつつある」

生産を業種別にみると、食料品、輸送機械、汎用・業務用機械、電気機械が増加しているなど、生産活動は緩やかに持ち直しつつある。

(主なヒアリング結果)

- 競合他社が原材料価格の上昇等を背景に価格改定を実施するなか、当社は価格を据え置いていることから受注が伸びており、生産量は堅調に推移している。(食料品)
- 米国でのEV優遇廃止や環境政策の見直しなどを背景にEVからHVへの回帰の動きがみられていることから当社製品の受注が回復しており、生産量が伸びている。(輸送機械)
- 米価高止まりを背景に農家の農業用機械への投資意欲が高まったことに伴い、機械に搭載するエンジンの生産量が増加した。(汎用・業務用機械)
- AI向け半導体市場やデータセンター市場の活況を背景に、韓国や台湾、米国を中心に半導体検査装置の需要が拡大しており、生産量は前年比で20%増加している。(電気機械)
- 原材料のエチレンの調達量減少に伴い、足下で生産量が減少している。(化学)

■ 雇用情勢 「緩やかに持ち直している」

新規求人数は減少しているものの、有効求人倍率は横ばいで推移している。人手不足を背景に企業の採用意欲は高い状況にあるなか、雇用情勢は緩やかに持ち直している。

(主なヒアリング結果)

- 技術職が慢性的に不足している。大企業と中小企業との初任給格差は年々大きくなっており、大企業に人材が流れているため新卒採用が難航していることから、中途採用に力を入れている。(製造)
- 運転手不足が深刻なため、賃上げのほか、休憩時間の確保や早朝・深夜シフトの減少など待遇改善を図っている。コストをかけて採用活動を行っているが、不足状態は改善されていない。(運輸)

■ 設備投資 「7年度は減少見込みとなっている」 (全規模・全産業) 「法人企業景気予測調査」8年1-3月期

- 7年度の設備投資は、製造業では前年比16.2%の減少見込み、非製造業では同10.5%の増加見込みとなっており、全産業では同0.5%の減少見込みとなっている。

■ 企業収益 「7年度は減益見込みとなっている」 (全規模) 「法人企業景気予測調査」8年1-3月期

- 7年度の経常利益(除く「電気・ガス・水道業」、「金融業、保険業」)は、製造業では前年比18.1%の減益見込み、非製造業では同10.6%の増益見込みとなっており、全体では同3.6%の減益見込みとなっている。

■ 企業の景況感 「『下降』超に転じている」 (全規模・全産業) 「法人企業景気予測調査」8年1-3月期

- 企業の景況判断BSIをみると、全規模・全産業ベースで「下降」超に転じている。先行きについては、8年4~6月期に「上昇」超に転じる見通しとなっている。

■ 住宅建設 「前年を下回っている」

- 新設住宅着工戸数をみると、持家、分譲住宅が前年を上回っているものの、貸家が前年を下回っており、全体として前年を下回っている。

(主なヒアリング結果)

- 若い世代を中心に、住宅価格の高騰や住宅ローン金利上昇への不安感が強まっていることなどから住宅取得意欲が低下しており、受注数は現状維持が精一杯の状況。(住宅建設)

■ 公共事業 「前年を上回っている」

- 前払金保証請負金額をみると、前年を上回っている。

茨城県の経済情勢報告

資料編

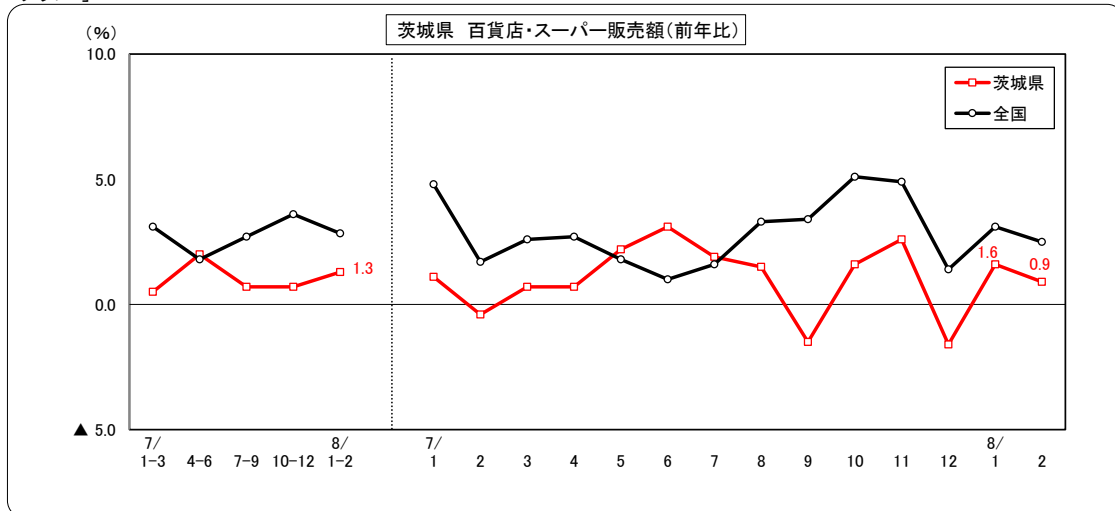
※掲載した経済指標等については速報値を含む。

1. 個人消費

持ち直している



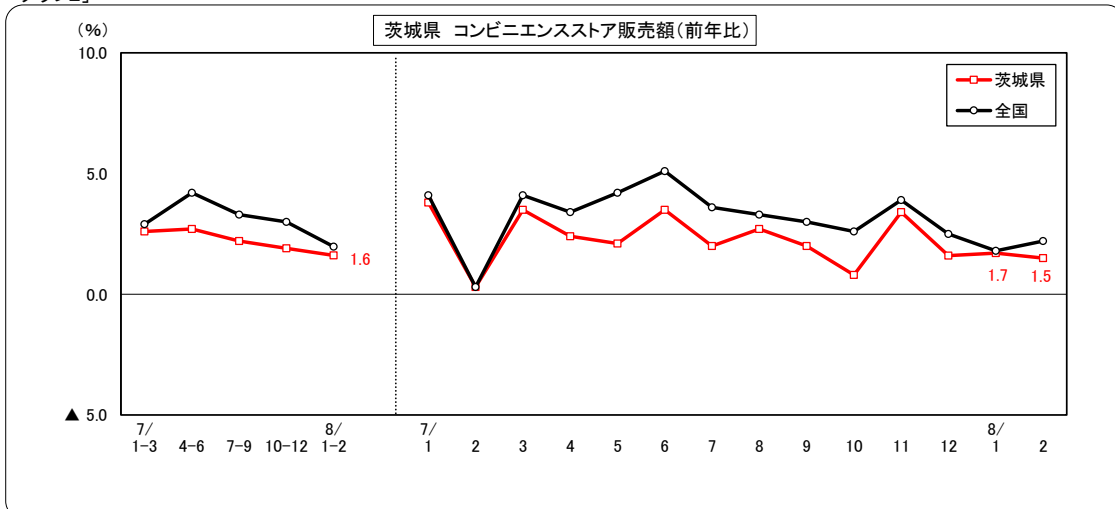
「グラフ1」



(注)全店ベースの数値。8年2月の値は速報値。

(資料:経済産業省)

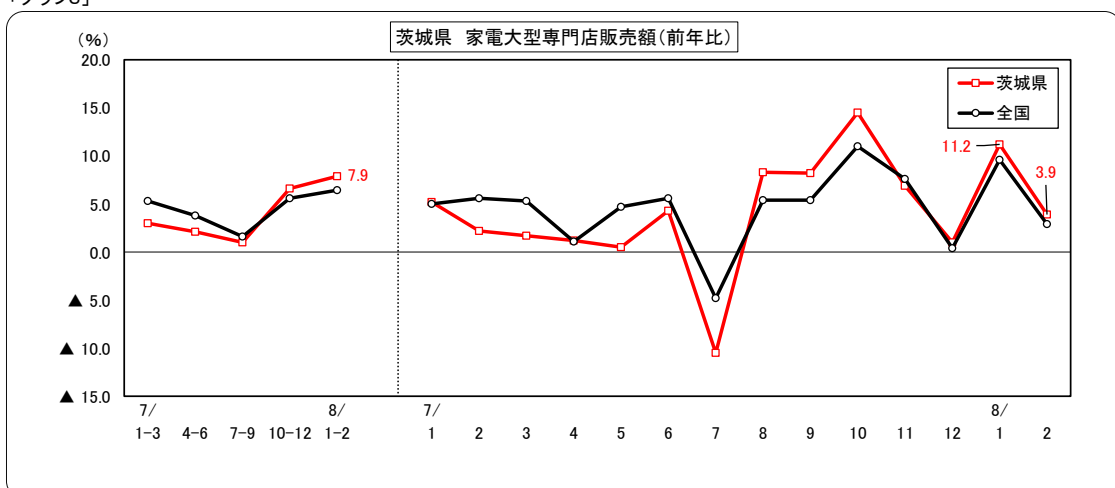
「グラフ2」



(注)全店ベースの数値。8年2月の値は速報値。

(資料:経済産業省)

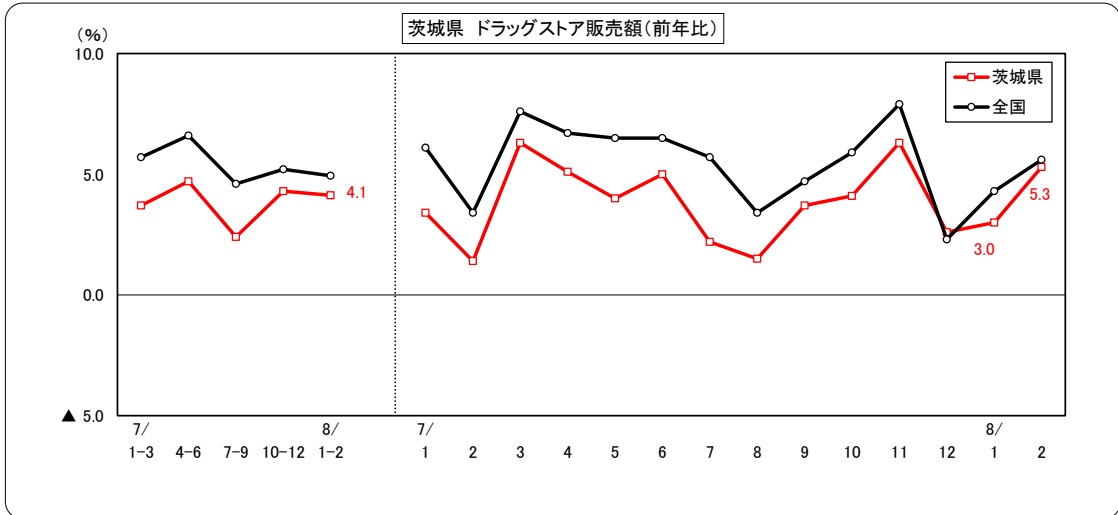
「グラフ3」



(注)全店ベースの数値。8年2月の値は速報値。

(資料:経済産業省)

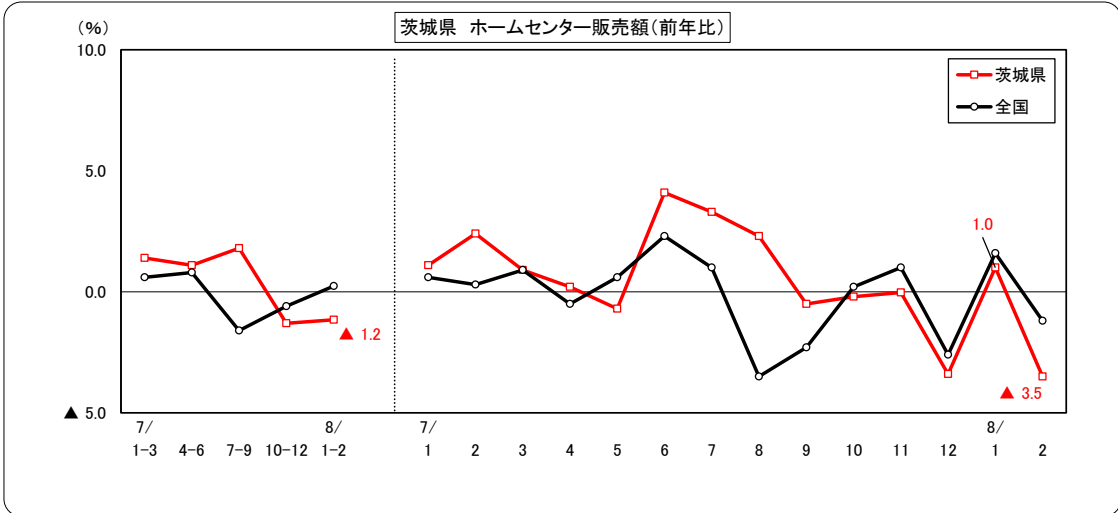
「グラフ4」



(注)全店ベースの数値。8年2月の値は速報値。

(資料:経済産業省)

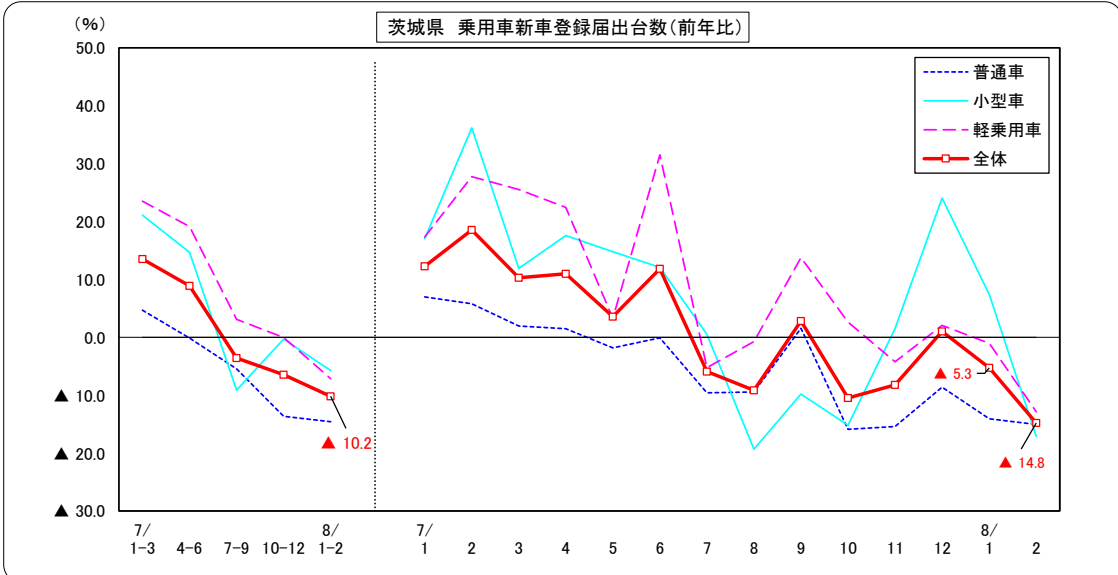
「グラフ5」



(注)全店ベースの数値。8年2月の値は速報値。

(資料:経済産業省)

「グラフ6」



(注)乗用車新車登録届出数とは、ナンバーベースで普通車・小型車・軽乗用車の合計。

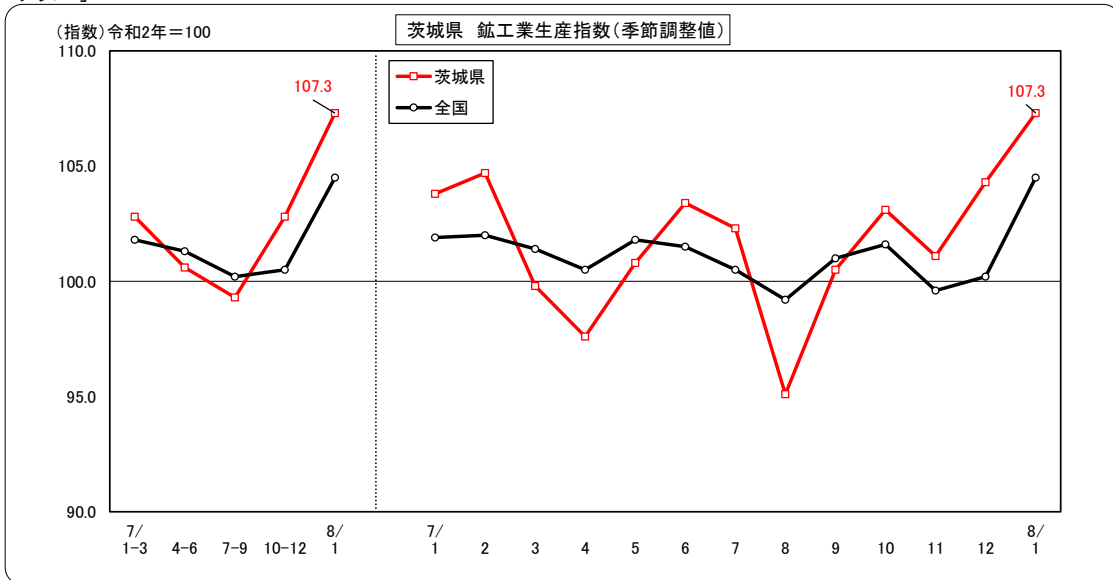
(資料:日本自動車販売協会連合会、全国軽自動車協会連合会)

2. 生産活動

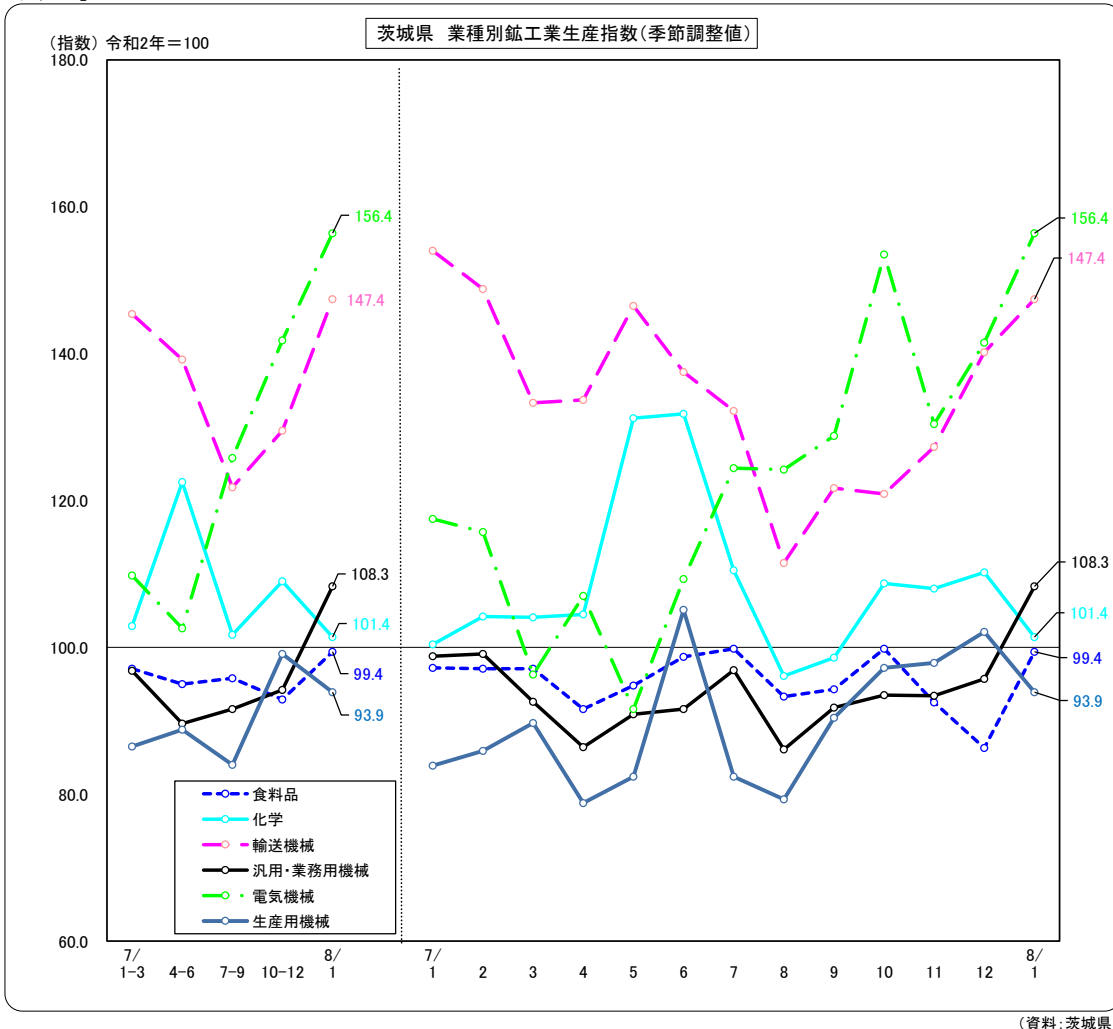
緩やかに持ち直しつつある



「グラフ7」



「グラフ8」

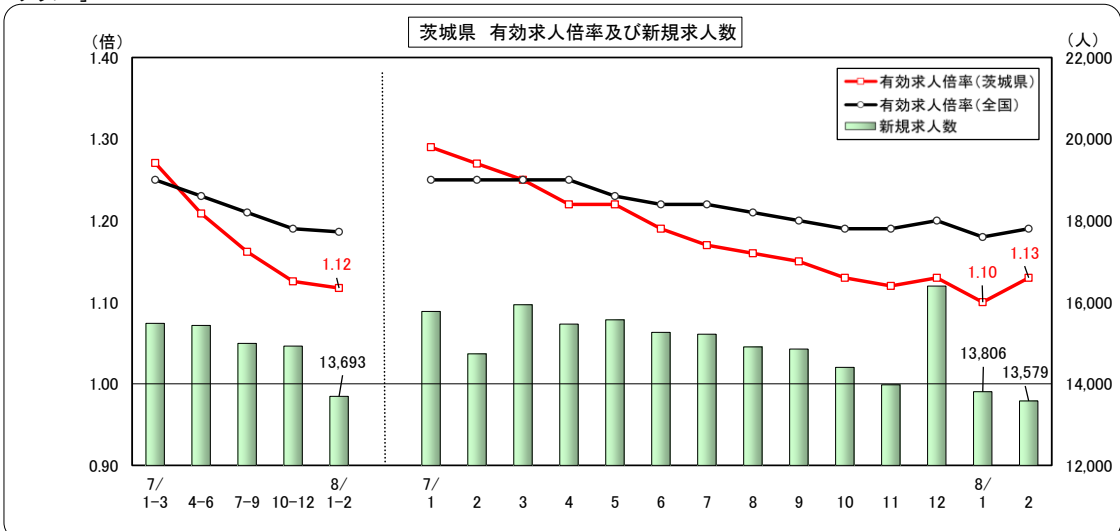


3. 雇用情勢

緩やかに持ち直している



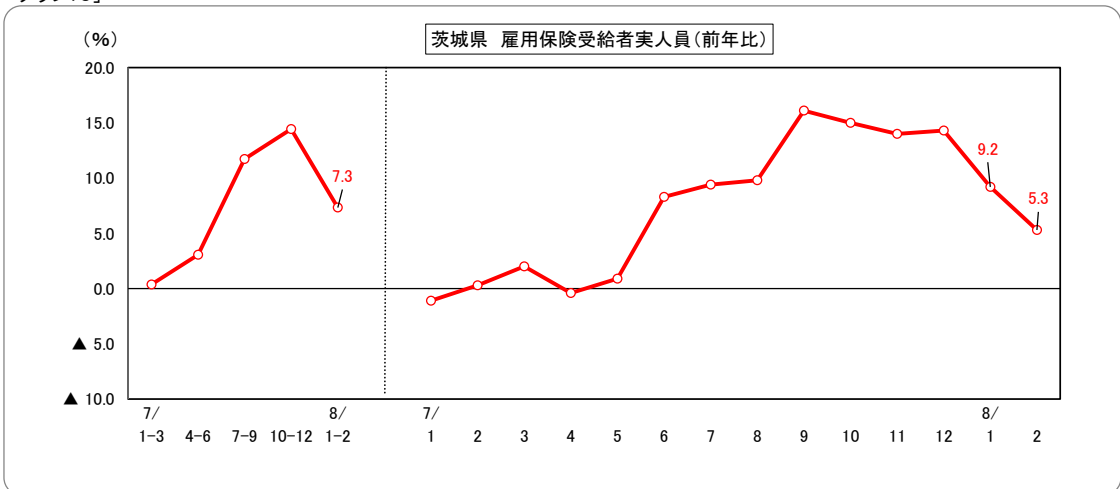
「グラフ9」



(注)パートタイムを含む季節調整値。新規求人数の四半期及び8年1-2月の値は月当たりの平均。

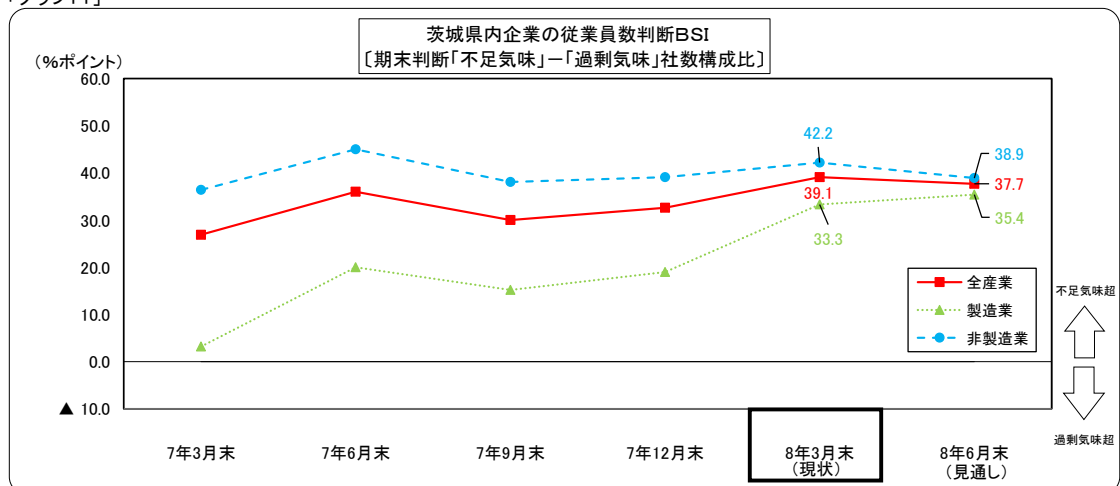
(資料:厚生労働省、茨城労働局)

「グラフ10」



(資料:茨城労働局)

「グラフ11」

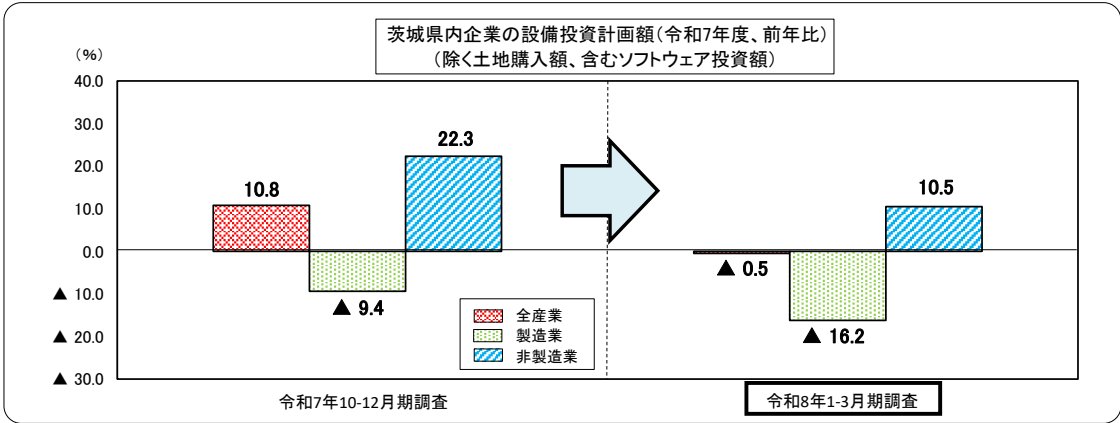


(資料:水戸財務事務所「法人企業景気予測調査」)

4. 設備投資

7年度は減少見込みとなっている

「グラフ12」

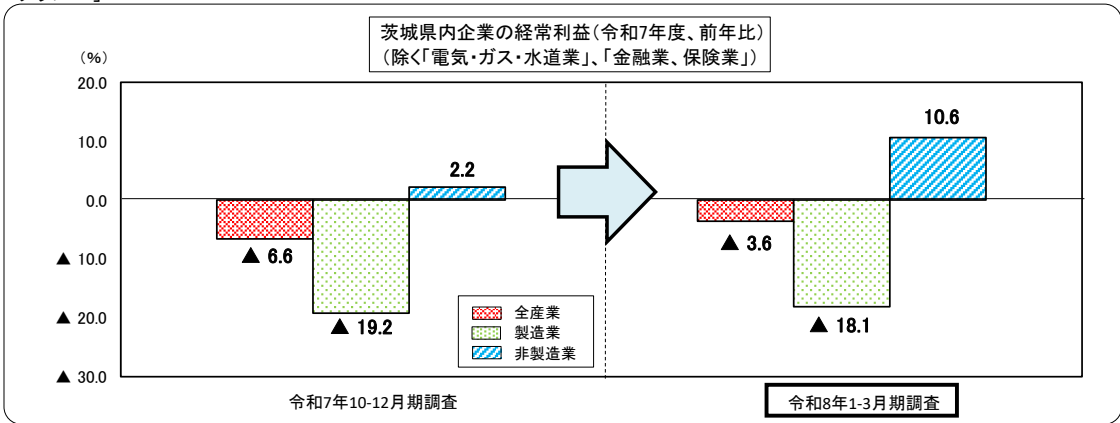


(資料:水戸財務事務所「法人企業景気予測調査」)

5. 企業収益

7年度は減益見込みとなっている

「グラフ13」

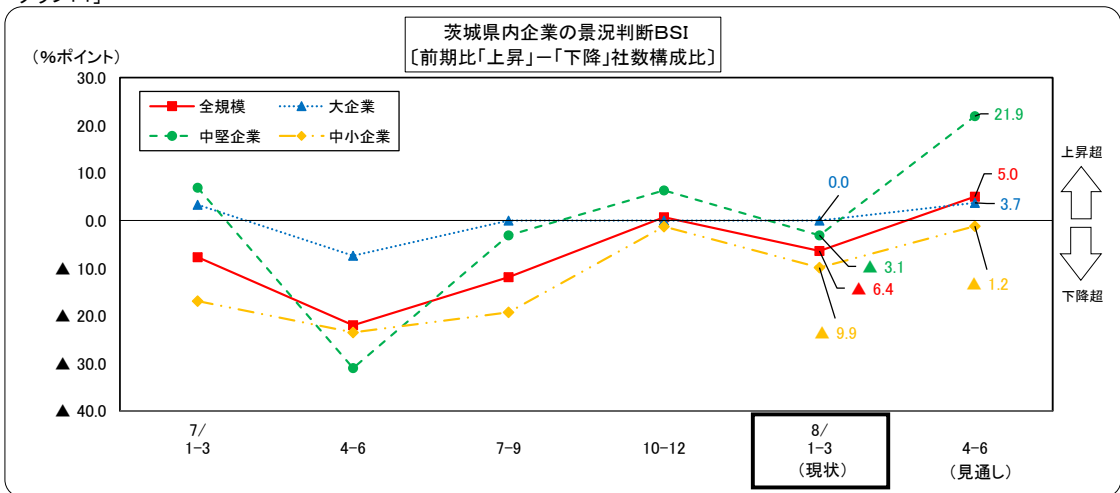


(資料:水戸財務事務所「法人企業景気予測調査」)

6. 景況感

「下降」超に転じている

「グラフ14」



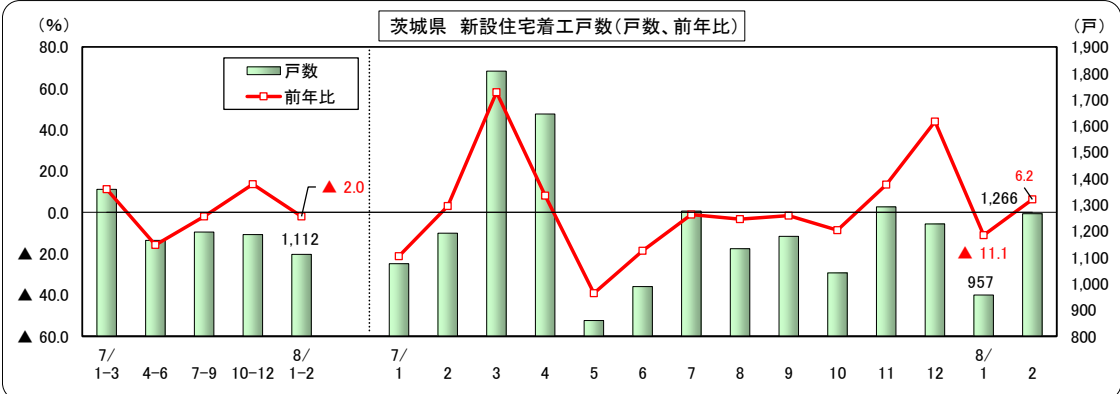
(資料:水戸財務事務所「法人企業景気予測調査」)

7. 住宅建設

前年を下回っている



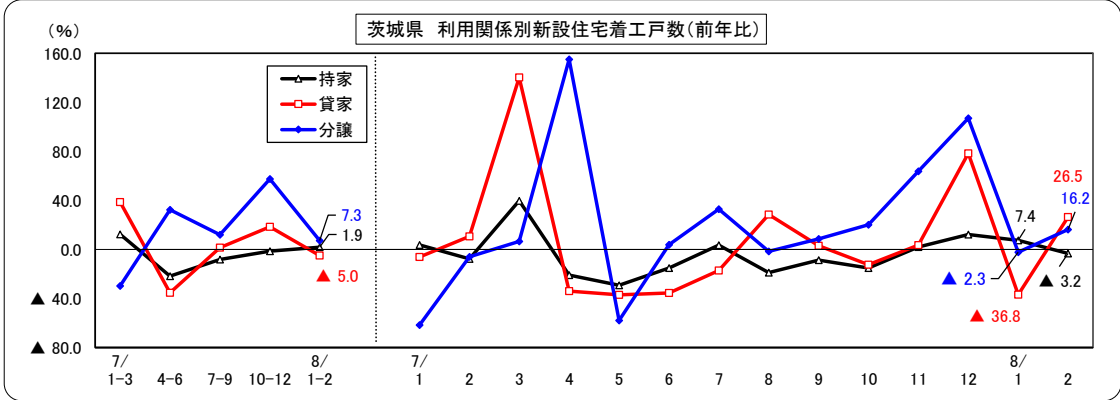
「グラフ15」



(注) 住宅着工戸数の四半期及び8年1-2月の値は月当たりの平均。

(資料: 国土交通省)

「グラフ16」



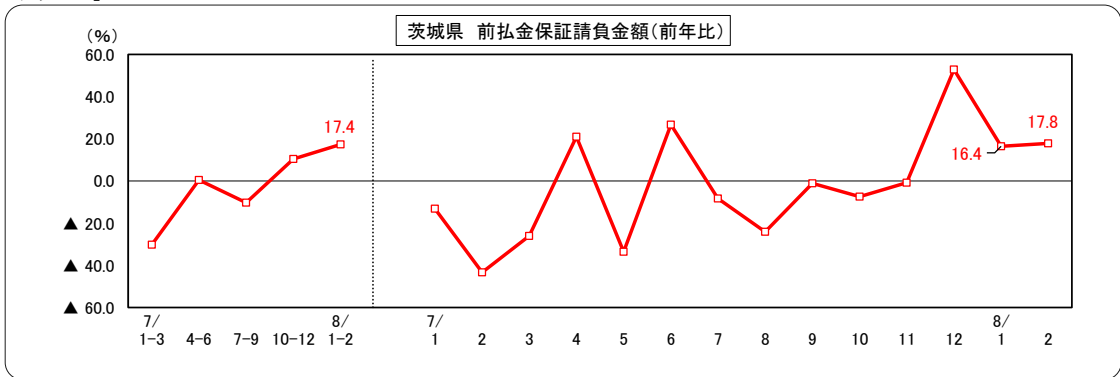
(資料: 国土交通省)

8. 公共事業

前年を上回っている



「グラフ17」

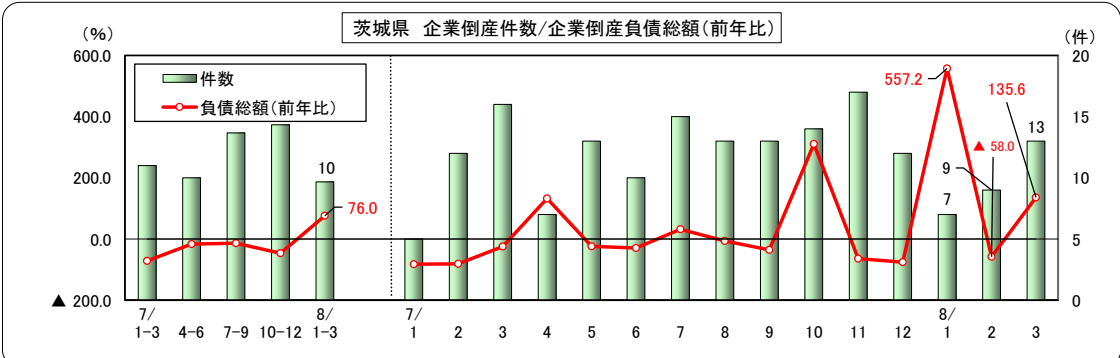


(資料: 北海道建設業信用保証㈱、東日本建設業保証㈱、西日本建設業保証㈱)

9. 企業倒産

件数は前年を下回っているものの、負債総額は前年を上回っている

「グラフ18」



(注) 負債総額1千万円以上。企業倒産件数の四半期は月当たりの平均。

(資料: ㈱東京商工リサーチ)